



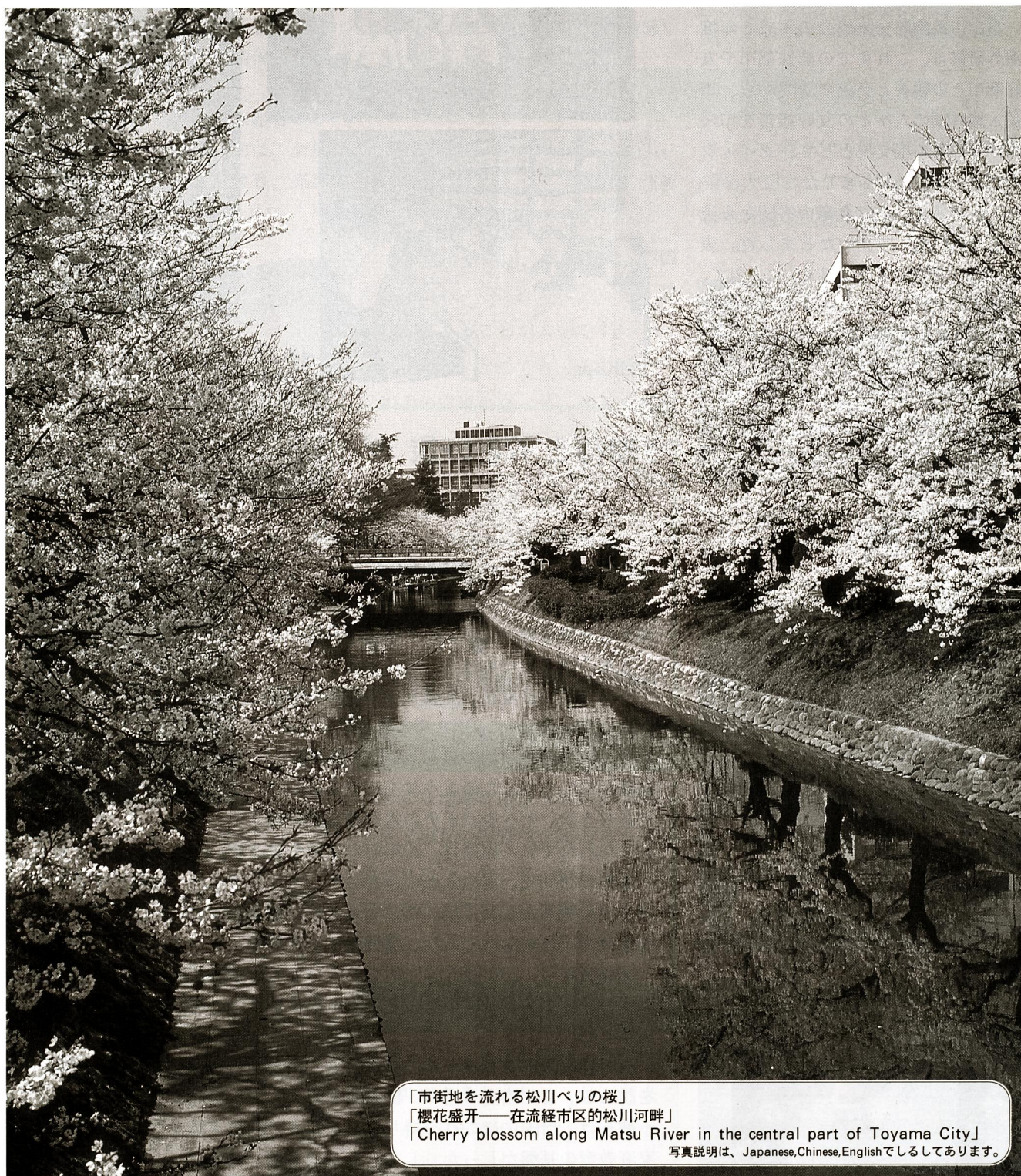
TCA

—NEWS—

Vol.16 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



「市街地を流れる松川べりの桜」

「櫻花盛开——在流经市区的松川河畔」

「Cherry blossom along Matsu River in the central part of Toyama City」

写真説明は、Japanese, Chinese, Englishでしてあります。

会員募集

広げよう友情の輪

草の根交流

タイ・シンガポールの旅

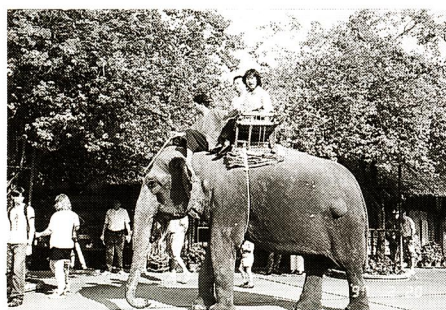
富山市民国際交流協会の平成8年度海外研修は、これまでの姉妹都市や友好都市との親善と交流の訪問から、市民と諸外国の人々との友好親善を市民レベルの草の根交流として、タイ・シンガポールを訪問しました。

一行15名は、まだ春寒の雪国から炎天下の訪問国へ出発いたしました。表敬訪問や交流しながら異文化にふれて、それぞれの民族性を理解するには時間がかかることを実感。

タイの「YKKタイ社」やシンガポールの星日文化協会では、なごやかにたのしく交流交歓が行なわれ、国際交流の研修の成果は大きかった。



YKKタイ社

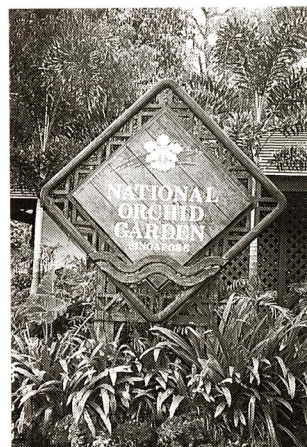


タイ・ローズガーデン



◀シンガポール
マーライオン公園

▼シンガポール植物園



◀星日文化協会にて陸学院長の説明を受ける

『期待と不安の旅 タイ・シンガポール』

会員 矢郷克子さん

一面銀世界からの旅立ち。その日の内に常夏のバンコクへ。600万人の人口が昼になると900万人にふくらむ。朝のラッシュ時には、労働者を乗せたバイクのハイヤーが渋滞している車の間を走りぬける。冷汗ものである。

バンコクでは現在、高層ビルや道路の建設が盛んである。いたるところに昔ながらのシックイ工法の建設現場が見られる。地盤が固く、地震がないので、このような工法でもよいのであろうか。ヤシやバナナの木が切られ、緑が失なわれていく風景は、20年前の日本を見る思いがした。

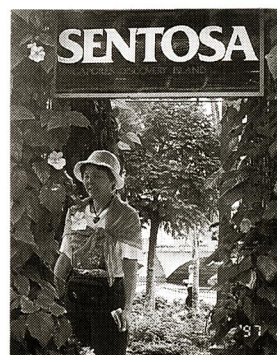
最初の訪問先、現地人との合弁会社「YKKタイ社」で懇談する。広い土地に整然とした工場。ここでも女性の進出がめざましく、376名の従業員中60%が女性であり、課長職に2名活躍している。

関係者から、20年間外国生活をしていても、困難にぶつかるとの話を聞き、他国を知り、平和に心の交流が出来るには、時間がかかることを実感した。

次の訪問国シンガポールへ飛び、富山市と交流が深い「星日文化協会」を訪ねる。また協会直営の「日本語学院」に学ぶ現地人と交流。

彼らは、自国にはこりを持ち、一人一人の話す言葉や行動の中から、家庭教育の基盤がしっかりしていることを伺い知る。

そして、外から見た日本は、まだまだ違った目で見られている。本当の日本は、外国の人の心の中に生きているのではと思った。



国際交流

担い手ネットワーク会議

今年で4回目を迎える当協会恒例の国内研修が、呉羽ハイツで開催されました。

国際交流・協力活動に取り組むボランティアの育成・交流を目的に、会員等が参加し、親睦と情報交換等、充実した二日間の研修会を終えました。



第一日目

講師 井波 純子

(富山外国語専門学校講師)

地域社会の国際交流

外国の方々が日本の習慣、文化、価値観に疑問をもつのは日本を理解しようとしているからです。

「なぜなんだ」「それは文化、習慣が違うから」では答にならない。具体的に答えることが大切です。

いつでも、どこでも、異文化です。

相手の立場に立って、相手の習慣を知って、相手の個人内コミュニケーションを大切に、

プロフィール

結婚後、単身渡米。帰国後、地域の国際交流活動に積極的に携わり、外国人のホームステイを受け入れる。

現在、市立富山外国語専門学校講師として、市民の生涯学習に貢献する。



ワークショップ(研究集会)

非日本人からの質問

1 言語・表現

- 日本人がはっきりものを言わないのはなぜですか？
- 何か聞いても明確な答が返ってこないのはなぜですか？

2 形式主義

- 形ばかり重んじて内容にそれほど意味がないのはなぜですか。

3 日本人の質問

- 両親の職業、収入、学歴、年齢、結婚、子供の数、体のサイズ、セックスに関することを聞くのはなぜですか。

4 日本文化

- 茶道、華道、書道、きもの、日本舞踊、空手、柔道以外に何かありますか。

5 日本人の横柄さ

- 外国人は何もわかっていないというような態度をとるのはなぜですか。

6 日本人のキーワード

- 「仕方がない」「がまん」「そういうことになっている」「そうするものだ」など、日本人は不都合なことがあってもこのキーワードでおさめてしまうのはなぜですか。

7 国際交流

- 国際交流って何ですか。

8 国際化

- だれのために日本を国際化しようとしているのですか。

9 国際協力

- あなたはどんな国際協力をしていますか。

第二日目

講師 内 慶 瑞

(富山女子短期大学福祉学科講師)

国際交流の在り方について

みんな地球に生きるもの同志が、対等で相互の異質性を認めあう関係でありたい。そして、私たちがその関係を作ってお互いを尊重しながら共生していくことが大切である。

プロフィール

同朋大学社会福祉学科卒業。日本精神薄弱者愛護協会社会福祉養成所終了後、社会福祉士となり、小矢部市社会福祉協議会ボランティア・コーディネーターを経て、現在富山女子短期大学福祉学科講師。

- 福祉性 (相手を思いやる)

- 人間性 (平等である)

- 国際性 同時代感覚…時

地球感覚……地域

異文化感覚…文化の尊厳

国際ボランティアの輪について

ボランティアは自発性、自主性、無償性であるといわれるが、出来ることから、かかわっていくことである。そして、だれかになにかをしてあげることではなく、自分作り、文化作りである。



'97 新春国際交流のつどい

2月1日(土) 15:00～ CICビル5F

'97 New Year's International Exchange Festa



すばらしいパーティーでした。
韓国、中国、アメリカなど世界中から来た
人達に会いました。
自分達の文化を交流できて良かったです。
また、一緒に楽しむこともできました。
来年はもっとたくさんの人に会いたいです。
来年もお会いしましょう。

立っている人

何 素米(ホ・タミー) 台湾、台北出身

当協会では昨年までは中国文化圏の春節と元宵節にちなんだ「春節联欢会」で交流を楽しみましたが、今年はできるだけ多くの外国の人たちが一緒に集い、異文化を理解し合い、交流を深められるようにと「新春国際交流のつどい」を開催しました。

いろいろの国の人たちと共に新春を祝い、カラオケや日本舞踊をたのしみ、最後に「Jenka」で一つの輪になって交流と親睦を深めました。

K A R A O K E



世界は一つである

花柳 源香さん

異文化理解講座 日本舞踊講師



▲あでやかに「曼華鏡絵巻」を踊る
◀ほのぼの会 上坂文 若連中のみなさん

ほんの少しだけでしたが日本舞踊をたのしんでいただけたでしょうか。
異文化理解講座では「とうりゃんせ」など簡単な踊りの紹介や練習、説明だけをしてまりました。今日はいろいろな国の人たちが大勢集まったのしい「新春国際交流のつどい」のステージですので「曼華鏡絵巻」の演目で「世界は一つである」を表現し心をこめておどりました。

これまでスリランカやイタリア、ハンガリー、中国等の国々で日本舞踊を通して文化交流をしてまいりました。これからも、いろいろな国の人たちとの文化交流・国際交流のお役に立てればと、活動に協力していきたいと思っております。



寄稿

ご寄稿ありがとうございました。これからも、みなさまの声を届けていきたいと思いをますのでよろしく、ご協力下さい。

「いそがしかった小学校生活」

応 韵沁



修学旅行で松本城へ

4年前の1月、上海から父につれられここ富山に来ました。とつぜんのことで、心の準備をするゆとりもなかった私は、日本語はもちろん、日本という国についてもよく知りませんでした。

私は、来てから3日目にすぐ五福小学校に入りました。

最初こそは、母がついてく

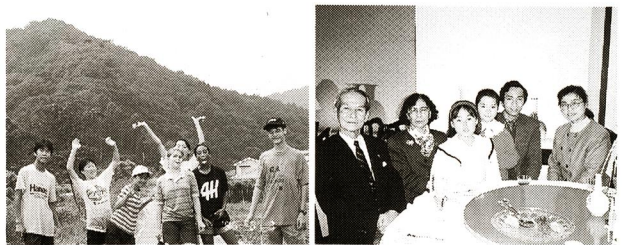
れましたが、2日目からは、さっそく一人でいくことになりました。まったく知らない世界に飛び込んでいった私に、学校の先生方がすごくやさしくしてくれて、校長先生も自ら日本語を教えてくださいましたおかげで、私は想像以上に早く日本語をマスターすることができました。さすがに言葉が満足にしゃべれなかった時は、友達もいなくていじめられもしましたが、言葉が通じるようになって、成績も上がるようになって、だんだん友達も増えてきました。言葉の力はすごいものだなあとつくづく感じさせられたものです。



中国での思い出

日本の学校や生活にも少しなれて来た4年生の3学期に、私は試験を受けて附属小学校に転校しました。友達もたくさんできて宿泊学習や学園合同運動会など、いろいろなことを体験し、今、小学校生活に別れを告げます。

中国からの転校、附属小学校への転校と、すごくあわただしい小学校生活でしたが、そこで学びとったことは、一生忘れることはないでしょう。



日本での楽しい交流

お知らせ

お問い合わせは当協会まで

平成9年度 富山市民国際交流協会総会

と き 5月15日(木) 15:00

ところ 県民会館 3F 国際会議場

・総会

・記念講演

講師 萩村哲朗氏 (御神奈川県国際交流協会
企画情報課課長)

テーマ 「内なる国際化とボランティア活動」

・交流レセプション 16:30 8F キャッスル

会費 2,000円

※多くのみなさんの出席をお待ちしております。

ボランティア養成講座

と き 6月7日(土) 13:30

ところ 市民プラザ 3F AVスタジオ

・講師 金井澄子氏 (当協会理事
ターラム交流市民の会会長)

・テーマ 「茶道とボランティア精神」

日本語ボランティア教師募集

在住外国人の方に、ボランティアで日本語を教えて下さる方を募集しています。

国際教養委員会各講座ご案内

研修講座・クラス名	4月以降の実施時期
【海外視察・教養語学講座】 1. 海外旅行・視察英会話入門クラス	毎月第3水曜日 6:30～ 8:00
2. 実践英語研修クラス	毎月第2土曜日 2:00～ 4:00
【日本文化理解講座】 3. 「日本文化を英語で語ろう」クラス	毎月第2火曜日 5:00～ 6:30
4. 日本語教員内容研修クラス	毎月第3土曜日 10:00～11:30
【国際教養専門講座】 5. “TIME” 輪読クラス	毎月第4土曜日 2:00～ 4:00
6. 通訳・ガイド養成クラス	毎月第4土曜日 10:00～12:00
7. 時事英作・サロンクラス	毎月第2土曜日 10:00～12:00
8. 「英語で意見発表・それを聴く」クラス	毎月第3火曜日 6:30～ 8:00
【国際交流市民講座】 9. 国際事情等研修クラス	随時
※研修場所 当センター	※受講料 無料

会員のみなさまへ〈会費納入〉のお願い

○会費 1口 3,000円

○納入方法・当センター窓口

(総会会場でも受け付けます)

・振込の場合は

北陸銀行市役所出張所

口座 富山市民国際交流協会

普通預金 No.4076440

第五回 世界の食文化研究会

～世界の味を楽しもう～
21世紀とやま青年機構 (WTA) 創立10周年記念事業 主催 世界青年友の会



1月19日 ボルファートとやま

世界の料理を各々の国の人に教わりながら作り、会食する食文化研究会が開かれました。

アメリカ・フィンランド・スペインなど、7ヶ国のエキゾチックな家庭料理から、コース料理まで、数多く挑戦し、お互いに料理を批評し合って会食した後、ゲームや会話も盛り上がり楽しい一時を過ごしました。



1月28日 富山県民会館

『国際ボランティアの集い』

—広げよう、国際ボランティアの輪—

富山市国際ボランティア貯金推進協議会（会長 正橋正一富山市長）及び富山市内郵便局は、「国際ボランティアの集い—シンポジウム&コンサート—」を開催し、国際協力の意義と必要性について理解を深めました。

タレントのアグネス・チャンさんが「みんな地球に生きる」と題して、基調講演。ボランティア体験をもとに“できることから始めよう”とボランティアの意義を訴えました。



第3回 青年海外協力隊員帰国報告会 & 国際理解セミナー



1997. 2. 15

マリエとやま7F「オリビス」



富山県青年海外協力隊を育てる会では、技術協力等による草の根の実践者である協力隊員の体験帰国報告会を開きました。

参加者たちは、開発途上国の現状を理解し、地球市民としての認識を深め、そして国際理解セミナーでは開発教育を通して、国際理解・国際感覚を高めました。（当協会後援）

報告者

- ・中川博司氏（電子機器）
インドネシア国派遣
- ・山崎真氏（理数科教師）
タンザニア国派遣

「日韓の料理で交流」

富山市女性海外派遣の参加者で組織するW.W.T.と

高屋敷一区婦人会による料理教室と「そと（外）からみた富山・日本」というテーマで講演会を行いました。

講演に先立ち、韓国出身で立山町在住の姜さんと参加者が自国料理を教え合い、会食した後、姜さんとイギリス出身で富山市内に住む山本コレットさんの話を聞き、交流の輪を広げました。



2月15日 高屋敷1区公民館

温かいご協力をありがとうございました

協会では、昨年より「身近でできる国際協力」として、使用済みテレフォンカード、書き損じハガキ、古切手の回収などを呼びかけてきました。

おかげさまで、会員の皆様や附属小学校がボランティア活動の一環として協力して下さり、多数寄せられました。今年度は、つぎの団体へ送らせていただきました。

・(株)日本キリスト教海外医療協力会。アフリカ友の会。(財)ケアジャパン。富山ユネスコ協会

これらの団体を通じ、途上国での医薬品や教育費などの援助に充てられます。

今後も引き続き、受け付けていきます。



編集後記

下枝に夕風わたる桜かな 梨葉

☆T. C. A-NEWS-Vol.16の表紙は富山市の市街地を流れる松川べりの桜です。富山市と姉妹・友好都市の4市を表紙ですと紹介しております。

☆当協会では、今年は冬の間も大活躍で多くの行事を開催し、多くの感動がありました。

「新春国際交流のつどい」でジェンカをたのしんだ後には、マレーシアの、タイの、カンボジアの等々、彼らから「3月に国へ帰ります。こうして、いろいろな国の人たちと輪になって肩においた手のぬくもりや心の温かかったこと、うれしかった。いつも、温かく手を取り合う心、忘れません。ありがとう……」と。

☆春、多くの別れもありました。また、新しいステキな出会いが始まります。交流の輪が大きく広がりますように富山市民国際交流協会の会員募集にご協力よろしく願いたします。 広報委員長 岡田昌代

※協会パンフレットは、改訂し、カラーになりました。ご利用下さい。